

テーマ：商業販売統計（2006年9月）

発表日：2006年10月27日（金）

～ 個人消費は緩やかに持ち直し ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 副主任エコノミスト 新家 義貴
 TEL：03-5221-4528

（単位：％）

| | | 商業販売額 | | | | | | | | | | コンビニ販売額 | |
|----|-----|-------|------|-----|------|-------|------|------|------------|------------|------|------------|------|
| | | 卸売業 | | 小売業 | | 大型小売店 | | | 百貨店 | スーパー | 前年比 | 既存店 前年比 | |
| | | 前年比 | 前期比 | 前年比 | 前期比 | 前年比 | 前期比 | 前年比 | 既存店 前年比 | 既存店 前年比 | | | |
| 05 | 1月 | 3.8 | 3.5 | 4.3 | 1.9 | 2.4 | 3.6 | 1.3 | ▲1.3 | 0.7 | ▲2.6 | 1.3 | ▲1.9 |
| | 2月 | 2.2 | ▲2.2 | 3.8 | ▲0.6 | ▲2.7 | ▲2.2 | ▲4.2 | ▲6.7 | ▲7.2 | ▲6.4 | ▲1.9 | ▲2.8 |
| | 3月 | 0.7 | ▲3.6 | 0.9 | ▲5.1 | 0.3 | ▲0.5 | ▲2.5 | ▲4.5 | ▲3.2 | ▲5.5 | 1.9 | ▲1.5 |
| | 4月 | 3.1 | 4.9 | 2.9 | 5.8 | 3.8 | 2.3 | ▲0.6 | ▲2.4 | ▲0.5 | ▲3.6 | 2.3 | ▲1.2 |
| | 5月 | 3.1 | ▲2.1 | 3.2 | ▲2.0 | 2.9 | ▲1.0 | ▲0.7 | ▲3.1 | ▲1.4 | ▲4.2 | 1.3 | ▲2.0 |
| | 6月 | 1.9 | 1.1 | 1.6 | 1.2 | 3.0 | 0.0 | ▲0.1 | ▲1.9 | 0.7 | ▲3.6 | 2.2 | ▲1.4 |
| | 7月 | 0.3 | 0.6 | 0.2 | 1.2 | 0.6 | ▲1.4 | ▲0.4 | ▲1.7 | 0.6 | ▲3.4 | ▲1.1 | ▲4.9 |
| | 8月 | 4.7 | 1.3 | 5.7 | 1.6 | 1.6 | 0.7 | ▲1.3 | ▲2.9 | ▲1.1 | ▲4.0 | 2.0 | ▲1.4 |
| | 9月 | 1.5 | ▲2.7 | 1.8 | ▲3.4 | 0.2 | ▲0.6 | ▲1.0 | ▲2.8 | ▲0.2 | ▲4.5 | 3.5 | ▲0.3 |
| | 10月 | 2.2 | 2.6 | 3.0 | 3.4 | ▲0.4 | ▲0.3 | ▲1.9 | ▲3.4 | ▲0.4 | ▲5.4 | 0.5 | ▲3.0 |
| | 11月 | 4.2 | 1.6 | 5.3 | 2.0 | 0.6 | 0.4 | 1.8 | 0.8 | 3.1 | ▲1.0 | ▲0.5 | ▲3.9 |
| | 12月 | 4.4 | 0.3 | 5.4 | 0.5 | 1.3 | 0.4 | 0.7 | 0.6 | 0.9 | 0.3 | 0.1 | ▲3.4 |
| 06 | 1月 | 5.3 | 4.0 | 7.4 | 3.1 | ▲0.4 | 2.4 | ▲2.3 | ▲2.8 | ▲0.9 | ▲4.1 | 0.3 | ▲3.2 |
| | 2月 | 5.5 | ▲2.7 | 6.9 | ▲2.0 | 1.1 | ▲1.4 | ▲1.6 | ▲1.9 | 0.3 | ▲3.3 | 1.2 | ▲2.4 |
| | 3月 | 3.3 | ▲5.1 | 3.9 | ▲6.8 | 1.0 | ▲0.3 | 0.1 | ▲0.3 | 1.8 | ▲1.8 | 0.7 | ▲2.6 |
| | 4月 | 4.1 | 5.6 | 5.6 | 7.4 | ▲0.8 | ▲0.1 | ▲0.5 | ▲0.9 | ▲0.4 | ▲1.3 | ▲1.8 | ▲5.0 |
| | 5月 | 6.8 | 0.0 | 9.1 | 0.3 | 0.1 | 0.6 | ▲0.9 | ▲1.6 | ▲1.2 | ▲1.9 | 0.2 | ▲2.9 |
| | 6月 | 5.1 | ▲0.1 | 6.5 | ▲0.3 | 0.2 | ▲0.1 | ▲0.5 | ▲1.2 | ▲1.9 | ▲0.7 | 3.2 | 0.6 |
| | 7月 | 5.1 | 0.7 | 6.7 | 1.3 | ▲0.1 | ▲1.6 | ▲1.0 | ▲1.4 | ▲1.4 | ▲1.3 | ▲2.4 | ▲5.2 |
| | 8月 | 6.0 | 2.1 | 7.5 | 2.5 | 1.1 | 1.7 | 0.6 | 0.1 | ▲0.8 | 0.7 | 0.8 | ▲1.8 |
| | 9月 | 4.3 | ▲4.2 | 5.2 | ▲5.5 | 0.8 | ▲1.4 | 0.7 | 0.7 | 1.3 | 0.3 | ▲0.8 | ▲3.4 |

（出所） 経済産業省「商業販売統計」

○ コンセンサスをやや下回る

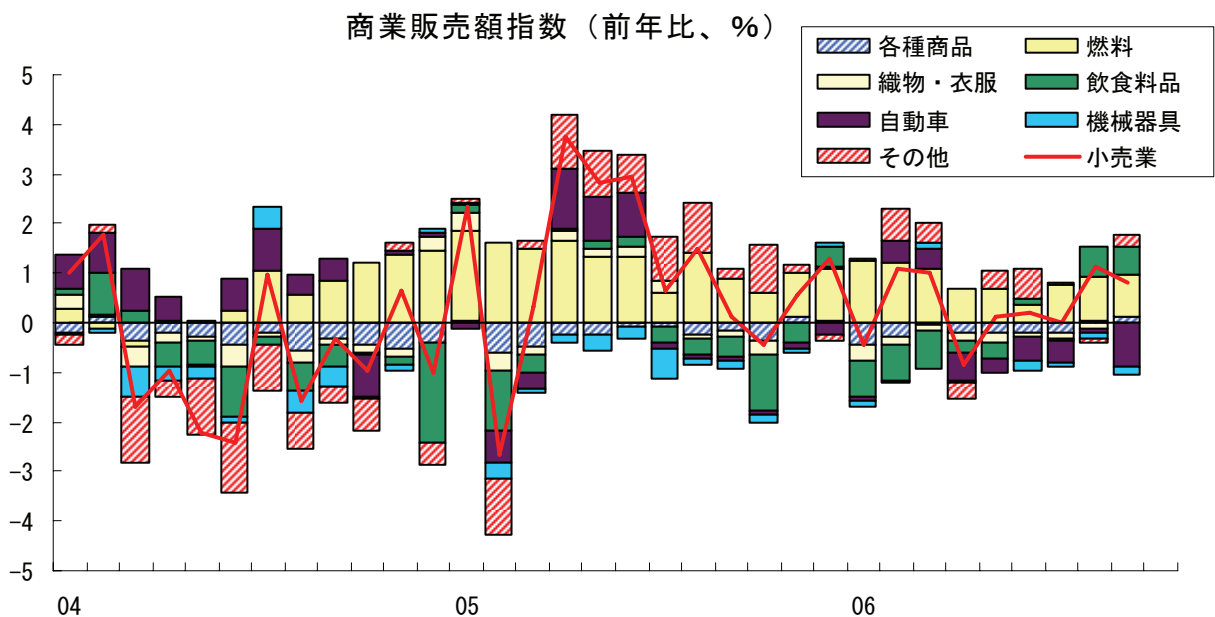
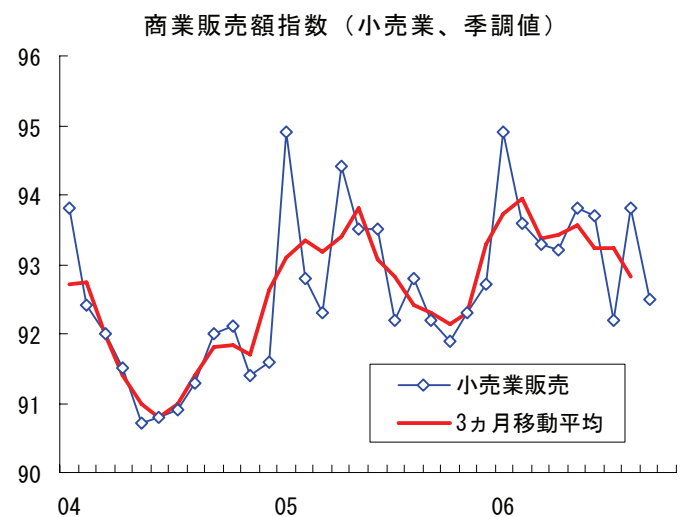
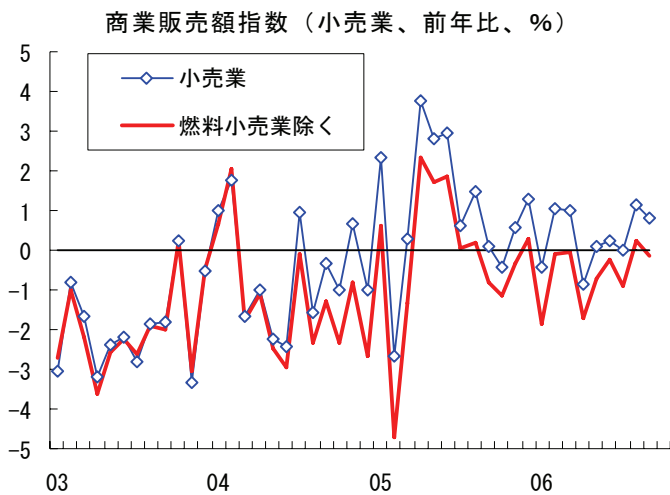
本日、経済産業省より2006年9月の商業販売統計が公表された。小売業販売額は前年比+0.8%と2ヵ月連続の増加となったが、コンセンサス（+1.2%、レンジ+0.2%～+2.9%）はやや下回った。季節調整値では前月比▲1.4%と、前月上昇した反動もあって減少した。また、大型小売店販売額は前年比+0.7%（既存店）と2ヵ月連続で増加、季調済み前月比（全店）も+0.3%と増加している。業態別では、百貨店販売額は前年比+1.3%と6ヵ月ぶりにプラスに転化、スーパーも同+0.3%と2ヵ月連続で増加した。コンビニエンスストア販売は前年比▲3.4%（既存店）とマイナスが続いている。

小売業販売額の内訳をみると、9月は天候に恵まれ客足も戻ってきた影響で各種商品小売業（前年比+0.9%、前月比+0.2%）が増加した一方で、自動車小売業が前年比▲6.3%、前月比▲6.4%と大幅に落ち込んでいる。今月の小売業販売額の前月比マイナス（▲1.4%）のうちかなりの部分が自動車小売業の減少によるものである（前月比寄与度▲0.8%）。単価の高い普通車や小型車から単価の低い軽自動車への需要シフトが起こっており、販売台数の減少以上に金額ベースでの落ち込みが大きいことを示していると考えられる。しかし、そのことを考慮しても、よりカバレッジの大きい乗用車販売台数（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会）と比較してマイナス幅がかなり大きく、9月の自動車小売業の値は実態よりもやや下振れている印象を受ける点は指摘しておきたい。

○ 個人消費は緩やかに持ち直し

9月の小売業販売は、天候不順の悪影響が徐々に剥落していることから良好な結果になると予想されていたのだが、実際には事前予想を下回るやや不冴えな結果に終わった。だがこれは、8月に前月比で高い伸びになった反動の面も大きく、8～9月を均してみれば、天候不順の影響で大きく落ち込んだ7月からはやや持ち直している。また、商業販売統計は財を対象にした統計であり、サービス消費は捕捉できない。内閣府が暫定値として公表するようになった形態別の個人消費でも確認できる通り、サービス消費がこのところ好調であることも踏まえると、個人消費全体としてみれば商業販売統計が示すよりも良好である可能性が高いだろう。

雇用・所得環境は緩やかに回復しており、個人消費を取り巻く環境は良好な状態が続いている。7月までの個人消費の押し下げ要因となっていた天候不順要因に関しても、悪影響は緩和されつつある。また、このところ原油価格や野菜価格が落ち着いていることから、石油関連製品価格の上昇や生鮮食品価格の上昇によって家計の購買力が奪われ、家計のマインドや消費が落ち込むリスクも、一時に比べると小さくなっている。こうした点を踏まえ、個人消費は今後も緩やかな持ち直しが続くと判断する。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。